

詩の言葉に潜在している劇的な力を引き出し、
音響や映像、ダンスと組み合わせ、
21世紀型の新たなパフォーマンスの姿を探る。

マラルメ・プロジェクト III

『イジチュール』 の夜へ

—「エロディード」／「半獣神」の舞台から—

渡邊守章

浅田彰

坂本龍一

高谷史郎

白井剛

寺田みさこ

企画：浅田彰、渡邊守章
構成・演出：渡邊守章

〈製作・主催〉
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
〈共催〉
京都造形芸術大学大学院
京都造形芸術大学 比較芸術学研究センター

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]

2012年7月22日[日] 16:00開演(15:30開場)

マラルメ・プロジェクト III

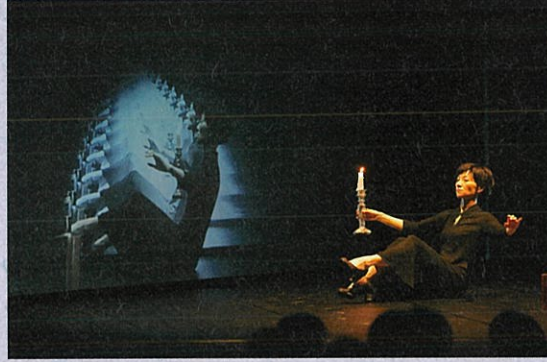
Stéphane Mallarmé

朗読——渡邊守章、浅田彰

音楽・音響——坂本龍一

映像・美術——高谷史郎

ダンス——白井剛、寺田みさこ



2011/8/14 マラルメ・プロジェクトII「イジチュール」の夜
京都芸術劇場 春秋座
撮影：清水俊洋

『イジチュール』の夜へ

—「エロディアド」／「半獣神」の舞台から—

詩人ステファヌ・マラルメの詩篇を声に出して読む、などという大それた企ては、かつてはマラルメ学者の配慮の地平に立ち現れたことはなかった。20世紀も最後の十年間あたりで、ようやくパフォーミング・アーツの狭い枠を超えるためにも、また、マラルメ自身の《言語創造》の深層と身体性に迫る作業としても、取り返さるべき不可欠の作業＝体験と考えられるようになり始めた。マラルメ自身は、その『詩と散文』（1893）の「祭務・典礼」と題する「批評詩のコラージュ」で、「未来の群集的祝祭」のパラダイムの一項として「詩篇の朗読会」を挙げていたのであるから、一世紀以上に及ぶその要請の無視は、伝統的マラルメ学の偏向の証左でもあった。

一昨年、筑摩書房『マラルメ全集』の完結を記念して、京都造形芸術大学大学院長・浅田彰と私との企画で、無謀とも言うべき「マラルメ・プロジェクト」が発足した。昨年は「『イジチュール』の夜」と題して、難解をもってなるこの「哲学的小話」を、坂本龍一の音楽、高谷史郎の映像、白井剛と寺田みさこのダンスに、浅田彰と私の朗読によって、多面的構造体を目指すパフォーマンスとして、春秋座の舞台に立ち上げてみた。

三年目に当たる今年は、同じメンバーによって、『イジチュール』の危機に深く関わりをもつ「半獣神」と「エロディアド」の詩篇を補助線のように用いて、「『イジチュール』の夜」を一層深化すると同時に、「半獣神」詩群と「エロディアド」詩群の懸かる言語・身体空間を、マラルメに沿って立ち現れるように、作ってみたい。

[京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授／演出家 渡邊守章]

□チケット発売日
2012年5月9日(水) 劇場友の会先行発売
2012年5月10日(木) 一般発売

□料金(全席指定)
一般——4,000円
シニア(60歳以上)——3,600円
学生&ユース(25歳以下)——2,500円
瓜生山学園生——1,000円
京都芸術劇場友の会——3,200円
※学生、ユース、シニアは要身分証明書提示
※瓜生山学園生は劇場チケットセンターのみの取扱い

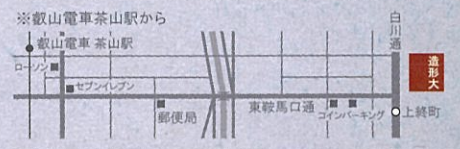
□チケット取扱い
●京都芸術劇場チケットセンター
Tel 075-791-8240(平日10時~17時)
●劇場オンラインチケットストア
※要事前登録(無料)
パソコンから
<http://www.k-pac.org/>
携帯電話から
<http://www.k-pac.org/theatre/m/m>



●チケットぴあ
<http://t.pia.co.jp> Pコード420-732
●イープラス
<http://eplus.jp>
●京都・滋賀各大学生協プレイガイド

□お問合わせ先
京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116
Tel 075-791-9207

京都芸術劇場 春秋座 [京都造形芸術大学内]
〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

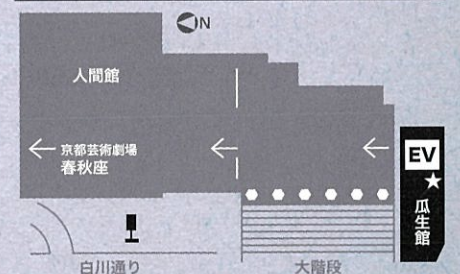


●JR:近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

●京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗り、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

●京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。



大学大階段横にエレベーターが新設されました。
白川通りから劇場1F(人間館1F)へは、
新設の瓜生館エレベーターをご利用下さい。